

仲間と紡ぐ温かい場所



cotton ~こっとな~ 代表
あじた えり
藤田 恵理さん(木之本町田部)

撮影場所：びわ高輪者福祉センター

毎月1回開催されている「不登校ママのお茶会」。部屋からは楽しそうな笑い声が聞こえてきます。藤田さんは、「学校に行かない、行けない、行きたくない」、そんな子どもとともに歩む母親が安心して思いを共有できる居場所「不登校の親の会 cotton ~こっとな~」の代表です。

自身も小学4年生の長男と小学3年生の長女、4歳の次女の3人の母親ですが、長男は学校に入学して1週間で学校を嫌がり、2学期から不登校に。長女も入学式の翌日からほとんど登校せず、すぐに不登校になりました。

誰にも相談できないまま、学校に行かせようと苦悩の毎日。しかし、もかけばもかくほど、わが子が次第に感情を閉ざし、笑

顔をなくしていくことに気づき始めます。ところが夏休みに入り、わが子が表情を取り戻してきたのを見て、ありのままを受け入れることの大切さを確信。「学校に行かない」という選択を認められるようになりました。「選択肢があること」が子どもたちや自身の気持ちを解放してくれたことに気づいた藤田さんは、同じ悩みを持つ仲間とともに支え合いたいと思い、平成29年10月、「cotton ~こっとな~」を設立します。

藤田さんのブログでは、自身の体験や不登校と向き合う生活があるままに語られ、母親たちの共感を集めます。会に参加する母親は、最初は涙を流しながら話しますが、悩みを共有することで肩の荷が下り、次第に笑顔を取り戻していく姿が、藤田さんの活動の支えとなって

います。綿のように柔らかく包み込んでくれる温かい場所にしたいと名づけた「cotton ~こっとな~」が、不登校の母親の安全基地であり続けてくればと、その思いを発信し続けています。

今、藤田さんがめざすのは、「HSC (Highly Sensitive Child: 人一倍敏感な子)親の会」の設立。不登校で悩む親はもちろん、地域にもHSCの正しい知識や特性を広めたいと語ります。

「自分たち親子のことを責めたり、一人で抱え込んだりしないでほしい。子どもの幸せを第一に考えているのは、みんな同じなんです」。全ての子とも母親が、自分らしく、幸せに暮らしてほしいという藤田さんの願いが、今日も多くの子を笑顔にします。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



いつも元気いっぱい、素敵な笑顔が
ありがとう。元気にスクスク育ってね。

奥川
優志郎さん(平成25年10月生まれ右)
清志郎さん(平成23年12月生まれ左)
(西上坂町)

神田
晴望ちゃん(平成28年4月生まれ後)
晟太郎ちゃん(令和元年5月生まれ前)
(下山田町)



待望のお姉ちゃんデビュー♡
これからも弟をよろしくネ!☺

まちの人口	令和元年8月1日現在	人口 118,160人	男 58,005人	女 60,155人	世帯数 46,200世帯
	令和元年7月中の異動	転入 306人	転出 221人	出生 66人	死亡 98人 婚姻 37件